

亀岡八幡宮 逗子市逗子5-2-13

入口の台輪鳥居を潜ると参道が真っ直ぐに伸び、境内中央奥に入母屋造り千鳥破風唐破風付きの拝殿が建立されています。その前には大正生まれの狛犬が居で、拝殿屋根下には様々な彫刻も施されていました。

御祭神：応神天皇

勧請の年月は明らかではないが、「新編相模風土記稿、境内案内版」によれば「八幡宮、村の鎮守なり、延命寺持」とある。明治維新の神仏分離令により同寺の管理から脱し、明治6年12月、村社に列せられ、正式に逗子の鎮守と定められた。社号は、古くは単に「八幡宮」と称せられたが、昭和28年10月、宗教学法人亀岡八幡神社として登録され神社本庁に所属したが、古くからの慣習で「亀岡八幡宮」と呼称する。亀岡の称については、当社の境内は、公の地籍上「高畠」という小字になっており、なだらかな岡で、亀の背中のようにであったというところから、鎌倉の「鶴岡八幡宮」に対し「亀岡八幡宮」と名付けられたものである。



道路からの鳥居も立派



本殿の周りに大きな銀杏や欅の大木がある



狛犬は愛嬌のある顔立ち



本殿近くにはカメが一對



本殿の彫刻も立派



奥宮近くには入れないが歴史を感じるし四方に彫刻が

